

株式会社ビルポと SolidSurface 株式会社が事業提携

～既築・中小規模施設でも導入可能な RaaS モデルを共同開発し、ロボット普及を加速～



株式会社ビルポ(所在地：東京都中央区、代表取締役：稲垣太一、以下「ビルポ」)と SolidSurface 株式会社(所在地：東京都千代田区、代表取締役：酒造 孝、以下「SolidSurface」)は、ロボットサービス RaaS (Robots-as-a-Service)の普及拡大に向けて事業提携を行います。

両社は、ビルポが展開する RaaS プラットフォーム「BILLMS (ビルムス)」に、SolidSurface が培ってきた建物管理システム、ロボット連携の技術ノウハウを融合し、既築・中小規模の病院、商業施設においても導入可能な RaaS モデルの確立を目指し、建物管理とロボット運用の両面からロボット普及を支援する体制を強化します。

深刻化する人手不足と現場の実情

医療施設や商業施設では、清掃・警備・搬送などの業務における人手不足が深刻化しており、ロボット導入への期待が急速に高まっています。とくに 200 床規模の中小病院では、限られた予算とリソースの中で効率的な運用が求められています。

高コストなエレベーター連携の壁

ロボット導入の最大のハードルは、エレベーター連携にかかる初期費用とランニングコストです。エレベーター連携にはメーカーの専任対応が必要なうえ、対応可能なロボットも限定されるため、費用対効果の面で導入が進みにくい状況が続いています。

過剰な機能と不明確な運用設計

既存のロボットの群管理・群制御システムの機能は、現場の実運用要件と乖離しているケースも多く、適切な業務管理、ロボット管理、ライフサイクルマネジメント（LCM）といった観点を欠いたまま、高額なシステムが導入されることも少なくありません。

こうした課題に対し、ビルポと SolidSurface は、技術と運用の両面から現場に即した RaaS 導入モデルの確立を目指します。



事業提携の目的

SolidSurface は要求定義から基本設計までの技術コンサルティングを担当し、ビルポは RaaS プラットフォーム「BILLMS」の開発・提供および営業展開に注力します。

「BILLMS」は、複数ベンダー製ロボット群を一元管理する統合プラットフォームです。ベンダー毎にバラバラな管理画面を排除し、清掃、運搬、警備、案内などのロボットが混在する環境でも渋滞の回避やスムーズなエレベーター乗降、ロボット同士の衝突防止を実現します。

また、ロボットから得られる情報に加え、建物内に設置されたカメラ、センサーから得られるデータも統合した「一枚板」の UI により、建物全体のライフサイクルマネジメントを意識したデータドリブンな運用ツールを提供します。

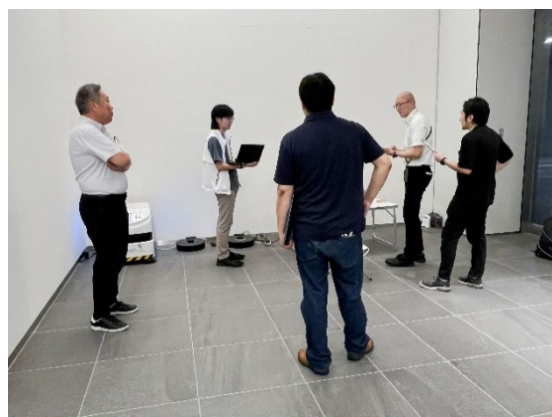
ビルポは、RaaS 設計（どんなロボットを、何台、どの時間に動かすのか）を担当し、SolidSurface は、ロボットサービスのテストフィールドとして活用している HANEDA INNOVATION CITY（東京都大田区）での実証試験の実施（設計通りの運用が可能か）とデータ分析から、実装に必要な技術支援を行います。



さらに、発注者・ビルオーナーのニーズに応じて、エレベーター連携を前提としないロボットの導入からスタートし、段階的に機能を拡張できる柔軟な導入手法の確立を目指します。これにより、幅広い発注者に対し、初期費用を抑えたロボット導入を実現します。

事今後の展望

両社は、現場課題に即した RaaS モデルの提供を通じて、清掃・搬送業務の省人化と品質向上を推進するとともに、将来のスマートシティの重要なインフラとなるロボットの普及を促進し、ソサエティ 5.0 の実現に貢献してまいります。



【会社概要】

SolidSurface 株式会社

所在地：東京都千代田区神田錦町 1-13 大手町宝栄ビル 303

代表者：酒造 孝

設立：2022 年

事業内容：ロボティクス事業、システム開発事業、AI システム構築事業

URL：<https://www.solidsurface.co.jp/>

株式会社ビルポ

所在地：東京都中央区湊 1-6-1 八丁堀 A F ビル 3 階

代表者：代表取締役 稲垣 太一

設立：2022 年

事業内容：清掃ロボットの導入支援・開発、ロボット群管理システム『BILLMS』の開発・提供、ビルメンテナンス業に特化した DX コンサルティング

URL：<https://builpo.co.jp/>